

## 河野洋平氏を提訴？

JJ1SXA/池

以下は、MS・産経ニュース(2013年9月16日付)に載った記事の抜粋です。

…以下引用…今年7月に発足した「慰安婦の真実」国民運動(加瀬英明代表)が10日、参議院議員会館で記者会見し、騒動を泥沼化させた根源といえる「河野談話」の撤廃を求める署名3万867人分を同日、国に提出したことを報告。また近く河野洋平氏個人を提訴する考えも明らかにした。

…中略…慰安婦問題がここまで反日勢力に利用されることになった元凶は、「韓国側の誘いに乗って、事実を曲げて政治的妥協をはかって作成された文書」である河野談話にある、というわけで、当然ながら出席者からは河野洋平氏に対する厳しい声が相次いだ。藤岡信勝幹事は「政治家としての国家に対する裏切り行為を、司法の場で問う意義はあるのではないか」として、河野洋平氏に対する民事訴訟を起こす考えを示した。河野談話をめぐっては、石川県在住の諸橋茂一氏がかつて、東京地検に河野氏を刑事告発したものの「時効」を理由に却下された経緯がある。今回は民事で責任を問う方針で準備が進められており、年内にも提訴できる見通しという。

…中略…実は第1次安倍政権の平成19年3月、当時は社民党に所属していた辻元清美衆院議員の質問主意書に答えて、政府は「河野談話」に関連し「政府が発見した資料の中には、軍や官憲によるいわゆる強制連行を直接示す記述は見当たらなかった」とする答弁書を閣議決定している。閣議決定は官房長官談話よりも重いものであり、この時点で根拠が崩れた河野談話は空文化しているはずなのだが、…

…引用終り…

「河野談話」を撤廃しても、即「慰安婦問題」が解決するわけでは無いだろうが、日本政府が、何一つ証拠が無かったにも関わらず、慰安婦の「強制連行」を認めたかのように読める「河野談話」を発表したことは間違いであったと思う、間違いは間違いで訂正するべきであろうかとも思う、遅すぎる感もあるが、早急に対処すべきでしょう。

「村山談話」も、引っ込めてもらいたい、歴代の総理が、「村山談話を踏襲して…」と言ってきたが、もういい加減、止めにするべきだ。

「村山談話」のもととなる、「歴史を教訓に平和への決意を新たにする決議」の成立過程は、TWO-FORTY誌記事「自虐的歴史観」(第73号・15,Mar,2009 発行)に書きましたが、265人の議員が欠席し、議員総数509人の半数以下の230人の賛成で可決している、これだけの欠席があったのは、だまし討ちにあったためだ、そんな決議から生まれた「村山談話」にはうんざりだ、「村山談話」や「河野談話」を引っ込めるのは、けしからんと外国の批判もある、世界にそんなに簡単に謝る事例は無い、あっさり謝るのはもっと悪いことを隠すためだとの批評もある、とにかく謝るという日本の感覚は理解されない、国際感覚は違っている、仕切り直しても良いだろう。(14,Oct,2013記)